

自動車会議所 ニュース

発行所



一般社団法人 **日本自動車会議所**
Automobile Business Association of Japan

〒105-0012

東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館

電話：03 (3578) 3880

FAX：03 (3578) 3883

URL

https://www.aba-j.or.jp



第3回 CSP大賞2023

2024 **2** 特別号
No.956

発行人 山岡 正博

編集人 田村 里志



第3回(2023年度)クルマ・社会・パートナーシップ大賞表彰式
主催 日本自動車会議所 日本自動車新聞社

大賞を受賞した自動車技術会の大津啓司会長(写真左から2人目)と東雄一常務理事(同3人目)



選考委員特別賞を受賞したはちどりの石原慧子社長

「クルマ・社会・パートナーシップ大賞」表彰式。受賞者、関係者など約100人が参加し、各受賞事業者の取り組みに感謝の意を伝えた。

自動車技術会のキッズエンジニアが大賞に
第3回目を迎える今回は、全国から62件の応募があり、25件を「グッドパートナーシップ事業」に選定しました。その中から「大賞」、大賞に次ぐ「選考委員特別賞」、そして「モビリティ・ソリューション賞」「地域・コミュニティ活性化賞」「SDGs賞」「自動車ユーザー連携賞」「自動車ユーザー連携賞」の各部門を選定して表彰します。自動車技術会の「キッズエンジニア」が輝きました。2008年から続けているこの活動は、自動車を支える科学技術やものづくりを学ぶ機会を小学生に無償で提供する取り組み、近年では時代の需要に合わせて、プログラミングなども取り入れられています。表彰式で登壇した大津啓司会長は「キッズエンジニアは支部のイベントも含めて、2つの間に応募定員が埋まってしまいうる人気です。参加する子どもたちの目は本当に輝いています。時に技術に苦しめられているわれわれ大人たちは、自動車技術が本来はどれだけ面白いものかというのを子どもたちに笑顔から教えられたい」と喜びを語っていました。

「今後も自動車技術をキーワードに社会の発展に貢献していきたい」と、子どもたちを育てていくという思いを込めて、「大賞を受賞したことに感謝し、これからも頑張りたい」と抱負を述べました。

また、表彰授賞後に行われた大賞受賞者のプレゼンテーションでは、東雄一常務理事が取り組みのポイントなどを

受賞者それぞれの熱意に光

表彰式と交流会を開催



「第3回クルマ・社会・パートナーシップ大賞」表彰式。受賞者、関係者など約100人が参加し、各受賞事業者の取り組みに感謝の意を伝えた。

「第3回クルマ・社会・パートナーシップ大賞」表彰式。受賞者、関係者など約100人が参加し、各受賞事業者の取り組みに感謝の意を伝えた。

「第3回クルマ・社会・パートナーシップ大賞」表彰式。受賞者、関係者など約100人が参加し、各受賞事業者の取り組みに感謝の意を伝えた。

「第3回クルマ・社会・パートナーシップ大賞」表彰式。受賞者、関係者など約100人が参加し、各受賞事業者の取り組みに感謝の意を伝えた。

「第3回クルマ・社会・パートナーシップ大賞」表彰式。受賞者、関係者など約100人が参加し、各受賞事業者の取り組みに感謝の意を伝えた。

日本自動車会議所(山田竹志会長)は2024年2月9日、東京都港区の第一ホテル東京で第3回(2023年度)「クルマ・社会・パートナーシップ大賞(CSP大賞)」(共催：日本自動車新聞社)の表彰式を開催し、受賞者をはじめ関係者など約100人が出席しました。CSP大賞は、自動車業界で働く50万人と自動車ユーザーのさまざまな貢献に感謝を伝えるとともに、素晴らしい取り組みを世の中に広めていく表彰事業として2021年に創設しました。主催者を代表して挨拶した山田会長は、まず1月に発生した能登半島地震の犠牲者に哀悼の意を表し被災者へのお見舞いの言葉を述べた

後、次々に話しました。「受賞された取り組みは、受賞者それぞれが持っている熱意や創意工夫、実行力などが、大変強く心に刻まれるものでした。主催者としてより光をあて、幅広く広報を行ってまいります。CSP大賞は、当会議所の大切な事業として来年度以降も継続し、皆さまに認められ、成長していく自動車業界の重要な表彰制度にしっかりと育てていきたいと考えています。この後、受賞者への賞状授与などのセレモニーが行われ、表彰式終了後は別フロアへ会場を移し交流会が行われました。

「受賞された取り組みは、受賞者それぞれが持っている熱意や創意工夫、実行力などが、大変強く心に刻まれるものでした。主催者としてより光をあて、幅広く広報を行ってまいります。CSP大賞は、当会議所の大切な事業として来年度以降も継続し、皆さまに認められ、成長していく自動車業界の重要な表彰制度にしっかりと育てていきたいと考えています。この後、受賞者への賞状授与などのセレモニーが行われ、表彰式終了後は別フロアへ会場を移し交流会が行われました。」

第3回クルマ・社会・パートナーシップ大賞



受賞者との記念撮影の様子

本自動車販売協会連合会理事相談役は、「活動期間には多少配慮していただき、新しい取り組みが多数、応募されています。選考の感想を述べました。選考委員特別賞のほかに、グッドパートナーシップ事業の東日本三菱自動車販売とトヨタモビリティ

受賞者 喜びの声

「静岡のトヨタ販売店と共同受賞でき、ありがたかったです。トヨタの井上武社会員貢献推進部長」

「静岡のトヨタ販売店と共同受賞でき、ありがたかったです。トヨタの井上武社会員貢献推進部長」

「静岡のトヨタ販売店と共同受賞でき、ありがたかったです。トヨタの井上武社会員貢献推進部長」

「静岡のトヨタ販売店と共同受賞でき、ありがたかったです。トヨタの井上武社会員貢献推進部長」

「静岡のトヨタ販売店と共同受賞でき、ありがたかったです。トヨタの井上武社会員貢献推進部長」

クルマ・社会・パートナーシップ大賞特集

自動車業界の輝く取り組み

もっと広がっていいけば

日本自動車会議所(内山田竹志会長)は、第3回(2023年度)クルマ・社会・パートナーシップ大賞(CSP大賞、共催)を主催する。受賞者を決定した。大賞は子どもたちへのクルマの楽しさを広げたいという考えから、小学生を対象とした学習イベント「キッズエンジニア」を開催する自動車技術会(大津啓司会長)を選定。選考委員特別賞は幼稚園児を対象にクラクション体験を組合んだ交通安全教室を開催するはちどり(石原慧子社長、愛知県安城市)が受賞した。表彰式は9日、都内のホテルで開催する。

大賞は自動車技術会の「キッズエンジニア」

CSP大賞は、自動車業界、さまざまな取組みとして、地域活性化に取り組み、で働く50万人と自動車ユーザーとの関わりを深める「地域・コミュニティ活性化賞」、SDGsの取組みに貢献する「SDGs貢献賞」、SDGsの取組みを推進する「SDGs推進賞」の3つの部門を設ける。その中から選考委員会が大賞を選定する。その中から選考委員会が大賞を選定する。その中から選考委員会が大賞を選定する。



第3回 クルマ・社会・パートナーシップ大賞



「キッズエンジニア」では、エンジンの体感を通して、技術の魅力を伝えている

大賞

キッズエンジニアの取り組み

自動車技術会(大津啓司会長)が2008年から小学生を対象に開催している学習イベント「キッズエンジニア」。クルマの仕組みやエンジンについて楽しく学ぶイベントです。



企業や大学で活躍する現役のエンジニアが講師となり、楽しく学ぶ機会を提供する「教習型プログラム」。気軽に学ぶ機会を提供する「教習型プログラム」。

企業や大学で活躍する現役のエンジニアが講師となり、楽しく学ぶ機会を提供する「教習型プログラム」。

自動車技術会

自動車技術会(大津啓司会長)が2008年から小学生を対象に開催している学習イベント「キッズエンジニア」。

企業や大学で活躍する現役のエンジニアが講師となり、楽しく学ぶ機会を提供する「教習型プログラム」。

無償でものづくりの楽しさを学ぶ機会

産学官協力の下で毎年開催している「キッズエンジニア」。

産学官協力の下で毎年開催している「キッズエンジニア」。

産学官協力の下で毎年開催している「キッズエンジニア」。

産学官協力の下で毎年開催している「キッズエンジニア」。

誇りある取り組みに光 日本自動車会議所 内山田竹志会長 挨拶



このたび第3回(2023年度)クルマ・社会・パートナーシップ大賞(CSP大賞)の表彰式にあたり、主催者を代表し、ご挨拶申し上げます。

受賞された取り組みにつきましては、私どもとしても、より光をあて、幅広く広報を行ってまいりますので、事業者の皆様とともに関係各位のご協力をよろしくお願い申し上げます。

選考委員特別賞

交通教育における園児のクラクション体験

愛知県安城市(石原慧子社長)が、自動車教習所「コアラボ」を運営するほか、幼稚園や小学校、中学校、高校の交通安全教室、高齢者講習、企業向け交通安全講習などを幅広く展開している。同社が運営する交通安全教室では、園児を対象にクラクション体験を実施している。

実体験通じ目指す「生命輝く交通社会」

交通安全教室を通じて、園児の交通安全意識を高めることを目指している。

交通安全教室を通じて、園児の交通安全意識を高めることを目指している。

交通安全教室を通じて、園児の交通安全意識を高めることを目指している。

はちどり



交通安全教室を通じて、園児の交通安全意識を高めることを目指している。

交通安全教室を通じて、園児の交通安全意識を高めることを目指している。

白熱の議論重ねた選考

選考委員長

東京大学名誉教授 日本自動車研究所代表理事・研究所長

鎌田実

選考委員長を務めていた賞の趣旨に鑑み、長年コツコツと活動を続けてきたものや、これから新しい活動が盛り込まれる可能性があるものを高く評価した。今回は、件数は前年よりやや減りましたが、内容の濃いものが多く、感謝の意を伝えた。

講評



選考委員長の講評。受賞した取り組みの魅力を伝えている。

選考委員

- 関根 千佳(コーディネーター)
- 森 崇(オルタナティブ編集長)
- 加藤 和夫(日本自動車販売協会常務理事)
- 山口 正博(日本自動車協会専務理事)
- 花井 真紀子(日刊自動車新聞社代表取締役社長)
- 波田 重希(日本財団パラポータリティセンター推進戦略部長)

モビリティ・ソリューション賞

子ども達の絵やメッセージを感じられる場づくり



【受賞者コメント】
この度は、第8回クルマ・社会・パートナーシップ賞にて、モビリティ・ソリューション賞に選ばれたことに大変感謝しています。10年になる子ども達の絵やメッセージを感じられる場づくりが、このように評価されたことは、大変嬉しく、心より感謝申し上げます。今後、1件でも多く事故防止につながる活動を行ってまいります。

「子どもミュージアムプロジェクト」は、エクト協会(富田博文代表)とエクト協会(富田博文代表)による取り組みです。子ども達の絵やメッセージを感じられる場づくりを、子ども達の安全意識を高めること、また、交通安全教育の場として活用することを目指しています。現在、全国の100以上の企業が参加し、子ども達の絵やメッセージを感じられる場づくりを行っています。

トラック背面から事故抑制呼び掛け

【受賞者コメント】
この度は、第8回クルマ・社会・パートナーシップ賞にて、モビリティ・ソリューション賞に選ばれたことに大変感謝しています。10年になる子ども達の絵やメッセージを感じられる場づくりが、このように評価されたことは、大変嬉しく、心より感謝申し上げます。今後、1件でも多く事故防止につながる活動を行ってまいります。

同取組は、代表理事を務める富田博文氏の会社で発生した交通事故をきっかけに始まりました。子ども達の絵やメッセージを感じられる場づくりを、子ども達の安全意識を高めること、また、交通安全教育の場として活用することを目指しています。現在、全国の100以上の企業が参加し、子ども達の絵やメッセージを感じられる場づくりを行っています。

モビリティ・ソリューション賞

地域の交通安全教育センターとしての取り組み



【受賞者コメント】
この度は、モビリティ・ソリューション賞に選ばれたことに大変感謝しています。交通安全教育センターとしての取り組みが、このように評価されたことは、大変嬉しく、心より感謝申し上げます。今後、交通安全教育の場として活用することを目指しています。

大宮自動車教習所(加藤 誠社長)は、創立60周年を迎え、埼玉県公安委員会指定の自動車教習所として、これまで10万人以上の卒業生を交通安全教育の場として活用してきました。交通安全教育センターとしての取り組みが、このように評価されたことは、大変嬉しく、心より感謝申し上げます。今後、交通安全教育の場として活用することを目指しています。

児童から高齢者まで幅広い活動展開

【受賞者コメント】
この度は、モビリティ・ソリューション賞に選ばれたことに大変感謝しています。交通安全教育センターとしての取り組みが、このように評価されたことは、大変嬉しく、心より感謝申し上げます。今後、交通安全教育の場として活用することを目指しています。

大宮自動車教習所(加藤 誠社長)は、創立60周年を迎え、埼玉県公安委員会指定の自動車教習所として、これまで10万人以上の卒業生を交通安全教育の場として活用してきました。交通安全教育センターとしての取り組みが、このように評価されたことは、大変嬉しく、心より感謝申し上げます。今後、交通安全教育の場として活用することを目指しています。

地域・コミュニティ活性化賞

警視庁との災害時における協定締結と日頃の連携



【受賞者コメント】
この度は、地域・コミュニティ活性化賞に選ばれたことに大変感謝しています。警視庁との災害時における協定締結と日頃の連携が、このように評価されたことは、大変嬉しく、心より感謝申し上げます。今後、地域活性化の場として活用することを目指しています。

トヨタモビリティ東京(佐藤 康彦社長)は、警視庁との災害時における協定締結と日頃の連携が、このように評価されたことは、大変嬉しく、心より感謝申し上げます。今後、地域活性化の場として活用することを目指しています。

給電車両提供などで防災支援体制構築

【受賞者コメント】
この度は、地域・コミュニティ活性化賞に選ばれたことに大変感謝しています。給電車両提供などで防災支援体制構築が、このように評価されたことは、大変嬉しく、心より感謝申し上げます。今後、防災支援体制構築の場として活用することを目指しています。

トヨタモビリティ東京(佐藤 康彦社長)は、給電車両提供などで防災支援体制構築が、このように評価されたことは、大変嬉しく、心より感謝申し上げます。今後、防災支援体制構築の場として活用することを目指しています。

モビリティ・ソリューション賞

松戸市グリーンスローモビリティ地域推進事業



【受賞者コメント】
この度は、モビリティ・ソリューション賞に選ばれたことに大変感謝しています。松戸市グリーンスローモビリティ地域推進事業が、このように評価されたことは、大変嬉しく、心より感謝申し上げます。今後、松戸市グリーンスローモビリティ地域推進事業の場として活用することを目指しています。

松戸市(本郷 健次市長)は、2016年度から実施している松戸市グリーンスローモビリティ地域推進事業が、このように評価されたことは、大変嬉しく、心より感謝申し上げます。今後、松戸市グリーンスローモビリティ地域推進事業の場として活用することを目指しています。

高齢者が主役の地域振興活動

【受賞者コメント】
この度は、モビリティ・ソリューション賞に選ばれたことに大変感謝しています。高齢者が主役の地域振興活動が、このように評価されたことは、大変嬉しく、心より感謝申し上げます。今後、高齢者が主役の地域振興活動の場として活用することを目指しています。

松戸市(本郷 健次市長)は、高齢者が主役の地域振興活動が、このように評価されたことは、大変嬉しく、心より感謝申し上げます。今後、高齢者が主役の地域振興活動の場として活用することを目指しています。

地域・コミュニティ活性化賞

木更津市との継続的な地域パートナーシップ活動



【受賞者コメント】
この度は、地域・コミュニティ活性化賞に選ばれたことに大変感謝しています。木更津市との継続的な地域パートナーシップ活動が、このように評価されたことは、大変嬉しく、心より感謝申し上げます。今後、木更津市との継続的な地域パートナーシップ活動の場として活用することを目指しています。

ポルシェジャパン(力)は、木更津市との継続的な地域パートナーシップ活動が、このように評価されたことは、大変嬉しく、心より感謝申し上げます。今後、木更津市との継続的な地域パートナーシップ活動の場として活用することを目指しています。

地域に根差した広範な支援活動展開

【受賞者コメント】
この度は、地域・コミュニティ活性化賞に選ばれたことに大変感謝しています。地域に根差した広範な支援活動展開が、このように評価されたことは、大変嬉しく、心より感謝申し上げます。今後、地域に根差した広範な支援活動展開の場として活用することを目指しています。

ポルシェジャパン(力)は、地域に根差した広範な支援活動展開が、このように評価されたことは、大変嬉しく、心より感謝申し上げます。今後、地域に根差した広範な支援活動展開の場として活用することを目指しています。

地域・コミュニティ活性化賞

ナオイの森Ecoプロジェクトの取り組み



【受賞者コメント】
この度は、地域・コミュニティ活性化賞に選ばれたことに大変感謝しています。ナオイの森Ecoプロジェクトの取り組みが、このように評価されたことは、大変嬉しく、心より感謝申し上げます。今後、ナオイの森Ecoプロジェクトの取り組みの場として活用することを目指しています。

ナオイオート(直井 清正社長)は、ナオイの森Ecoプロジェクトの取り組みが、このように評価されたことは、大変嬉しく、心より感謝申し上げます。今後、ナオイの森Ecoプロジェクトの取り組みの場として活用することを目指しています。

売上の一部寄付などで地域緑化に貢献

【受賞者コメント】
この度は、地域・コミュニティ活性化賞に選ばれたことに大変感謝しています。売上の一部寄付などで地域緑化に貢献が、このように評価されたことは、大変嬉しく、心より感謝申し上げます。今後、売上の一部寄付などで地域緑化に貢献の場として活用することを目指しています。

ナオイオート(直井 清正社長)は、売上の一部寄付などで地域緑化に貢献が、このように評価されたことは、大変嬉しく、心より感謝申し上げます。今後、売上の一部寄付などで地域緑化に貢献の場として活用することを目指しています。

SDGs 貢献賞

再生重油を加温燃料に使った農業施設の建設



GNホールディングス(天野慎太郎社長、群馬県前橋市)は、2022年末に新規農業法人「株式会社mino-Lio(ミノリオ)」を設立し、農業界では従来ほとんど使用されなかった再生重油を加温燃料として利用する農業施設の建設に着手した。

日産・ルノーを取り扱う群馬日産と日産プリンス群馬、UDトラックを取り扱うGNロジパートナーズ、アウディ正規ディーラーを運営するアウディ営業部を傘下に擁するGNホールディングスには、自動車やトラックの定期点検などで年間約44万リットルのエンジンオイルを交換・排出している。この廃オイルは不純物を濾過すれば再生重油として農業用ビニールハウス加温用燃料にリサイクル可能となる。

近年、農業用ビニールハウスの加温燃料として用いられているA重油はウクライナ問題などで価格が高騰し、農家の経営を圧迫している。一方で再生重油は安価なため、この積極活用が重油高騰対策として有効な選択肢となる。

また、再生重油は省エネ法で非化石燃料に分類され、燃焼しても二酸化炭素(CO₂)の排出は実質ゼロカーボンとなるため、脱炭素農業の強力なツールとなる。

ミノリオでは、園芸用ビニールハウスと再生重油を加温燃料とした加温設備を導入し、高崎市大宮町にいちご農場を建設している。高崎市では、再生重油利用のための研究と普及に関する個別連携協定を締結しており、将来的には再生重油そのものの利用スキームを提供するうえで、循環型経済と地球温暖化対策への貢献を目指している。

GNホールディングス(天野慎太郎社長、群馬県前橋市)は、2022年末に新規農業法人「株式会社mino-Lio(ミノリオ)」を設立し、農業界では従来ほとんど使用されなかった再生重油を加温燃料として利用する農業施設の建設に着手した。

日産・ルノーを取り扱う群馬日産と日産プリンス群馬、UDトラックを取り扱うGNロジパートナーズ、アウディ正規ディーラーを運営するアウディ営業部を傘下に擁するGNホールディングスには、自動車やトラックの定期点検などで年間約44万リットルのエンジンオイルを交換・排出している。この廃オイルは不純物を濾過すれば再生重油として農業用ビニールハウス加温用燃料にリサイクル可能となる。

近年、農業用ビニールハウスの加温燃料として用いられているA重油はウクライナ問題などで価格が高騰し、農家の経営を圧迫している。一方で再生重油は安価なため、この積極活用が重油高騰対策として有効な選択肢となる。

また、再生重油は省エネ法で非化石燃料に分類され、燃焼しても二酸化炭素(CO₂)の排出は実質ゼロカーボンとなるため、脱炭素農業の強力なツールとなる。

ミノリオでは、園芸用ビニールハウスと再生重油を加温燃料とした加温設備を導入し、高崎市大宮町にいちご農場を建設している。高崎市では、再生重油利用のための研究と普及に関する個別連携協定を締結しており、将来的には再生重油そのものの利用スキームを提供するうえで、循環型経済と地球温暖化対策への貢献を目指している。



廃オイルで資源循環型農業を実現

別連携協定を締結しており、将来的には再生重油そのものの利用スキームを提供するうえで、循環型経済と地球温暖化対策への貢献を目指している。

別連携協定を締結しており、将来的には再生重油そのものの利用スキームを提供するうえで、循環型経済と地球温暖化対策への貢献を目指している。

SDGs 貢献賞

未就学児向けに交通安全啓発絵本を配布



トヨタ自動車と静岡県、トヨタ販売店グループは、1000年以降、静岡県内の全幼稚園・こども園・保育園に交通安全啓発を目的とする絵本を贈呈し続けている。この活動は、トヨタ自動車と交通安全活動の一環で、毎年春の交通安全啓発に合わせて、親子で交通安全を学び、繰り返し練習してもらうことが狙い。

トヨタ自動車は未就学児向けの交通安全啓発絵本を制作してきた。高度経済成長期で交通事故が増加したのを機に制作を開始した。未就学児の死傷者数は減少したものの、7歳児の事故が多い傾向は変わらないうえ、未就学児に目を配った絵本を発行することになった。

静岡県内のトヨタ販売店グループは、交通安全啓発絵本を制作してきた。高度経済成長期で交通事故が増加したのを機に制作を開始した。未就学児の死傷者数は減少したものの、7歳児の事故が多い傾向は変わらないうえ、未就学児に目を配った絵本を発行することになった。

トヨタ自動車と静岡県、トヨタ販売店グループは、1000年以降、静岡県内の全幼稚園・こども園・保育園に交通安全啓発を目的とする絵本を贈呈し続けている。この活動は、トヨタ自動車と交通安全活動の一環で、毎年春の交通安全啓発に合わせて、親子で交通安全を学び、繰り返し練習してもらうことが狙い。

トヨタ自動車は未就学児向けの交通安全啓発絵本を制作してきた。高度経済成長期で交通事故が増加したのを機に制作を開始した。未就学児の死傷者数は減少したものの、7歳児の事故が多い傾向は変わらないうえ、未就学児に目を配った絵本を発行することになった。

静岡県内のトヨタ販売店グループは、交通安全啓発絵本を制作してきた。高度経済成長期で交通事故が増加したのを機に制作を開始した。未就学児の死傷者数は減少したものの、7歳児の事故が多い傾向は変わらないうえ、未就学児に目を配った絵本を発行することになった。

親子で学んで事故死傷者ゼロ実現へ

交通安全活動の一環で、毎年春の交通安全啓発に合わせて、親子で交通安全を学び、繰り返し練習してもらうことが狙い。

交通安全活動の一環で、毎年春の交通安全啓発に合わせて、親子で交通安全を学び、繰り返し練習してもらうことが狙い。



交通安全活動の一環で、毎年春の交通安全啓発に合わせて、親子で交通安全を学び、繰り返し練習してもらうことが狙い。

SDGs 貢献賞

トヨタハートフルプラザ横浜の福祉車両・車いす体験授業



ウエインズトヨタ神奈川(区原漢二社長、横浜市神奈川区)は、同社が運営するトヨタハートフルプラザ横浜が、小学生向けの福祉車両・車いす体験授業を積極的に実施している。学校の先生や教員が福祉車両・車いすの知識を深め、福祉車両への理解を深めることを目指している。

2017年以降、横浜市立小学校高学年を対象に出前授業を行い、22年度までに169校、1万4970人の児童が授業を受けた。23年度からは川崎市立小学校も対象に授業を行うことになり、児童の深い学びにつなげている。

車いす体験授業では、自立小学生高学年を対象に出前授業を行い、22年度までに169校、1万4970人の児童が授業を受けた。23年度からは川崎市立小学校も対象に授業を行うことになり、児童の深い学びにつなげている。

ウエインズトヨタ神奈川(区原漢二社長、横浜市神奈川区)は、同社が運営するトヨタハートフルプラザ横浜が、小学生向けの福祉車両・車いす体験授業を積極的に実施している。学校の先生や教員が福祉車両・車いすの知識を深め、福祉車両への理解を深めることを目指している。

2017年以降、横浜市立小学校高学年を対象に出前授業を行い、22年度までに169校、1万4970人の児童が授業を受けた。23年度からは川崎市立小学校も対象に授業を行うことになり、児童の深い学びにつなげている。

車いす体験授業では、自立小学生高学年を対象に出前授業を行い、22年度までに169校、1万4970人の児童が授業を受けた。23年度からは川崎市立小学校も対象に授業を行うことになり、児童の深い学びにつなげている。



小学生向けに福祉や介護の実体験

同社が実施する授業では、福祉車両・車いすの知識を深め、福祉車両への理解を深めることを目指している。

同社が実施する授業では、福祉車両・車いすの知識を深め、福祉車両への理解を深めることを目指している。

自動車ユーザー連携賞

地元法人の従業員通勤車両を出張安全点検



トヨタカローラ香川(向井良太郎社長、香川県高松市)は、交通安全対策の一環で、地元法人の福利厚生制度を活用した従業員通勤車両の出張安全点検の取り組みを2022年10月以降注力している。香川県の交通事故率が全国的に高水準で推移する現状を受け、自動車の定期点検の啓発の徹底で、「正しい状態で走る車が一番多い県」に貢献することを狙っている。

同社はアンケートを通じて、「点検自体はしたが長時間かかる」「お金がかかる」「面倒」「点検結果がわからない」などの理由で点検しないユーザー意識の乖離解消に貢献したいと考えている。この取り組みは、必要に応じて部品交換や詳細な点検を推奨するだけでなく、積極的な人権確保を促進し、従業員の安全意識を高めていくことを目指している。

トヨタカローラ香川(向井良太郎社長、香川県高松市)は、交通安全対策の一環で、地元法人の福利厚生制度を活用した従業員通勤車両の出張安全点検の取り組みを2022年10月以降注力している。香川県の交通事故率が全国的に高水準で推移する現状を受け、自動車の定期点検の啓発の徹底で、「正しい状態で走る車が一番多い県」に貢献することを狙っている。

同社はアンケートを通じて、「点検自体はしたが長時間かかる」「お金がかかる」「面倒」「点検結果がわからない」などの理由で点検しないユーザー意識の乖離解消に貢献したいと考えている。この取り組みは、必要に応じて部品交換や詳細な点検を推奨するだけでなく、積極的な人権確保を促進し、従業員の安全意識を高めていくことを目指している。

トヨタカローラ香川(向井良太郎社長、香川県高松市)は、交通安全対策の一環で、地元法人の福利厚生制度を活用した従業員通勤車両の出出張安全点検の取り組みを2022年10月以降注力している。香川県の交通事故率が全国的に高水準で推移する現状を受け、自動車の定期点検の啓発の徹底で、「正しい状態で走る車が一番多い県」に貢献することを狙っている。

同社はアンケートを通じて、「点検自体はしたが長時間かかる」「お金がかかる」「面倒」「点検結果がわからない」などの理由で点検しないユーザー意識の乖離解消に貢献したいと考えている。この取り組みは、必要に応じて部品交換や詳細な点検を推奨するだけでなく、積極的な人権確保を促進し、従業員の安全意識を高めていくことを目指している。



自動車ユーザー連携賞

旧車や愛車のレストア通じ自動車文化を醸成



奈良トヨタ(菊池政社長、奈良県奈良市)は、旧車や愛車のレストアを通じて、県内における自動車文化の醸成に貢献している。同社は、集大成を誇る自動車博物館「まほろばミュージアム」の運営を継続する中で、これらを取り組みが地域に果たす役割が拡大してきている。

同社は、2004年に1962年式「コロナ」をレストアして展示し、16年以降にレストア事業を本格化した。また自社サービスセンターがレストアした車両の集大成を誇る自動車博物館「まほろばミュージアム」の運営を継続する中で、これらを取り組みが地域に果たす役割が拡大してきている。

奈良トヨタ(菊池政社長、奈良県奈良市)は、旧車や愛車のレストアを通じて、県内における自動車文化の醸成に貢献している。同社は、集大成を誇る自動車博物館「まほろばミュージアム」の運営を継続する中で、これらを取り組みが地域に果たす役割が拡大してきている。

同社は、2004年に1962年式「コロナ」をレストアして展示し、16年以降にレストア事業を本格化した。また自社サービスセンターがレストアした車両の集大成を誇る自動車博物館「まほろばミュージアム」の運営を継続する中で、これらを取り組みが地域に果たす役割が拡大してきている。



奈良トヨタ(菊池政社長、奈良県奈良市)は、旧車や愛車のレストアを通じて、県内における自動車文化の醸成に貢献している。同社は、集大成を誇る自動車博物館「まほろばミュージアム」の運営を継続する中で、これらを取り組みが地域に果たす役割が拡大してきている。

同社は、2004年に1962年式「コロナ」をレストアして展示し、16年以降にレストア事業を本格化した。また自社サービスセンターがレストアした車両の集大成を誇る自動車博物館「まほろばミュージアム」の運営を継続する中で、これらを取り組みが地域に果たす役割が拡大してきている。

グッドパートナーシップ事業

(大賞、部門賞受賞事業を除く)

- 一般社団法人愛知県自動車会議所 (名古屋市昭和区)
 - 「定期的な地域の自動車関係団体が連携して自動車の点検整備・税金・交通事故・保険などあらゆる相談ができる『自動車なんでも相談所』実施の取り組み」
- タクエチピューター株式会社 (名古屋市港区)
 - 「水を大量消費する洗濯機のメーカーとして水に関する地域貢献となる名古屋城の堀の水質浄化から始め今後拡大を図る取り組み」
- ネットトヨタ仙台株式会社 (仙台市宮城野区)
 - 「東日本大震災後に地域の子供達のために防災林植樹や伝統的な祭りなどへの体験活動を企画運営する『そらっこくらぶ』の取り組み」
- デンソー株式会社 (愛知県刈谷市)
 - 「貴重なイロモテヤマネコをクルマの脅威から守るためスマートフォンアプリなどを活用して安全運転行動を高める諸活動」
- 株式会社花見台自動車 (福島県いわき市)
 - 「通常ダンプトラックより2倍の荷物を積み安全性能も高めた高効率コンパクトトレーラダンプの開発による物流諸課題への対応」
- 東日本三菱自動車販売株式会社 (東京都目黒区)
 - 「伊豆・小笠原諸島における自然災害に伴う停電対策として中古軽自動車EVや外部給電器の供給などにより住民を支援する取り組み」
- トヨタ紡織株式会社 (愛知県刈谷市)
 - 「自社施設を新設した鉾山跡地における自治体・地域と協働・連携した緑地の復元など環境保全に関する諸活動」
- 日産自動車株式会社 (横浜市西区)
 - 「東日本大震災・原発被災後さらなる高齢化が進む福島県浪江町におけるデマンド型乗り合いサービスなど公共交通確保の取り組み」
- 株式会社ミスタニ (京都市南区)
 - 「車いすユーザーにレンタル・リースやサブスクを通じて個人用の福祉車両の普及を図る『福祉車両コンシェルジュ』の取り組み」
- 一般社団法人神奈川県自動車協議会 (横浜市港北区)
 - 「県内の小学生から募集した絵をトラックの荷台カバーにペイントするなど『夢を運ぶトラックデザインコンテスト』の取り組み」
- 神奈川トヨタ自動車株式会社 (横浜市神奈川区)
 - 「高齢運転者の交通安全をサポートするため運転ヘルスチェックのプログラムを作成し地元警察とも連携し拡大を図る取り組み」
- 岐阜トヨペット株式会社 (岐阜県岐南町)
 - 「人と自然と車がいっしょでも走り続ける社会を目指し環境配慮型農業の取り組みや食育事業を通じて地域活性化を図る諸活動」